

# 診断ひろしま

令和2年8月 第83号



## 新年度号

- 巻頭のことば 『新年度 ご挨拶』 会長 江川 雅典……………2
- 巻頭のことば 『総会 祝辞』 中国経済産業局 中小企業課長 浜本 幸男……………3
- 巻頭のことば 『総会 祝辞』 広島県商工労働部 経営革新課課長 和田 徹……………4
- トピックス 『令和2年度通常総会 報告』……………5
- スキルアップメニュー 令和元年度 冬季実務補習報告……………7
- 随筆・見聞録『夢のサッカースタジアム』 西村 賢志……………9
- 書評『鈴木さんの成功。』 岩田 潤一……………10
- 会員『診断士リレー訪問記』 牧野 恵美子……………11
- 新入会員紹介……………13
- 事務所訪問『アントレプレナー ～事務所レポート』 鼠家 正則……………15
- 令和2年度 研究会活動計画……………16
- 令和2年度 委員会活動計画……………18



一般社団法人 広島県中小企業診断協会

## 巻頭のことば

『先の見通しが難しい今だから頼りになるのは中小企業診断士』

会長 江川 雅典

厚生労働省が1月16日、新型コロナウイルスが検出されたと発表して以来、今日に至るまで多くの死者や重症者が発生しており、夏になってもまだ猛威を振るっています。また同じく、自然の猛威も脅威を増して、線状降水帯が各地に膨大な雨をもたらし、多くの被害が生じております。

このように様々な環境変化が起きている中で、(一社)広島県中小企業診断協会では広島県商工会連合会からの委託を受け、広島県商工労働部経営革新課の一室で開かれている新型コロナウイルス感染症対策支援事業に係る業務（広島県設置新型コロナウイルス感染症対策相談窓口対応）を行っています。この業務に際して、大変多くの会員の方々のご協力をいただいております。改めて感謝申し上げます。



中小企業診断士は、過去を分析してこれまでの経緯を活かす術を持ち、様々な情報や施策を駆使しながら今後の方向性を模索する能力を持つ資格であると、常々思っております。

新型コロナウイルス感染症の感染経路を断つために、これまでの事業のやり方を見直し、非接触をどのように実現できるのか、また災害が起きても如何に人命を確保し、事業を継続させていくのかの知恵を、私たちは過去に学び多くの事業者の方々に伝えることができます。そして、市町村や県及び国の施策を熟知し、活用するためのアドバイスを通じて将来への希望を繋げる役割が、まさに中小企業診断士の基幹部分です。

新型コロナウイルス感染症を回避するため、今現在「三密」がうたわれています。皆さんご存じの「密集」「密接」「密閉」の回避です。しかしこの言葉は、今回の新型コロナウイルス感染症を乗り切るための造語であり、昔からある『三密』とは異なっています。昔からある『三密』とは、弘法大師・空海がひらいた真言宗をはじめとする密教の教えであり、「身密（行動）」「口密（言葉）」「意密（こころ）」を指しています。仏教では、生命現象はすべて身（身体）、口（言葉）、意（心）という三つのはたらきで成り立っていると説き、自らの三つのはたらきを仏様の三密に合致させ、一体になる努力が大事であると伝えているそうです。

私達中小企業診断士も「三密」をしっかり回避し、『三密』を合致させながら、先の見通しに苦慮している事業者の方々に接することが重要と考えております。これからも、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

## 巻頭のことば

### 『総会 祝辞』

中国経済産業局 産業部 中小企業課長 浜本 幸男

中国経済産業局の浜本と申します。4月1日に中小企業課長に命じられました。新型コロナウイルス感染症が拡大している大変な時期に就任ということで、身の引き締まる思いです。微力ではございますが 中小企業のみなさまの発展の一助たるべく誠心誠意努力いたす所存でございますので、何とぞ一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



一般社団法人広島県中小企業診断協会並びに会員の皆様におかれましては、平素から経済産業行政の推進にあたりまして多大なるご理解とご協力を頂き、厚く御礼申し上げます。

特にこの度の新型コロナウイルス感染症への対策については、影響を受けられたみなさまに対し、精力的にご支援頂いておりますこと、心より感謝申し上げます。

世界的に猛威を振るう新型コロナウイルス感染症ですが、いまだに終息の見込みが立たず、各国多大な被害を受けているところです。一度治まったかにみえた我が国も例外ではなく、経済活動への影響も極めて大きく、中小企業にとっては今後も感染リスクをコントロールしながらの厳しい経営が続いていくものと考えられます。

経済産業省では、今回特に大きな影響を受けている中堅・中小企業等の皆様には、事業の継続を下支えするための最大200万円給付する持続化給付金に加えて、固定費の中で大きな負担となっている地代、家賃の負担を軽減するための家賃支援給付金を開始しました。その他、資金繰り支援、各種補助金による設備投資、販路開拓支援などを実施しており、今後も皆様の事業の継続、雇用・暮らしを守り抜いていくために、全力を尽くして参ります。

一方で、少しずつではあるものの明るい動きも見え始めました。新しい生活様式への移行等を背景に業績を上げている企業や、ピンチをチャンスにとの発想で新分野に進出する企業の取組も聞こえております。当局では、このような厳しい状況にある今こそ、将来に向けた新しい取組や備えを行おうというコロナの後を見据えた動きを応援することが重要と考えております。また、サプライチェーン強化のための国内生産拠点の確保やテレワークの拡大の動きは、大都市への機能の集中から地方分散につながる大きなチャンスになるのではないかと期待しております。

一般社団法人広島県中小企業診断協会並びに会員の皆様におかれましては、新型コロナという大変な試練の中、困難に立ち向かう事業者や、ピンチをチャンスに変えようという事業者に寄り添っていただき、共に荒波を乗り越えていただきますようよろしくお願い申し上げます。

## 巻頭のことば

### 『総会 祝辞』

広島県 商工労働部 経営革新課 課長 和田 徹

一般社団法人広島県中小企業診断協会の通常総会が盛会のうちに終わられましたことを心からお慶び申し上げます。貴協会におかれましては、昭和34年に社団法人中小企業診断協会広島県支部として設立以来、会員の資質向上や中小企業診断制度の普及と推進に努められ、中小企業の振興と地域経済の健全な発展に寄与されますとともに、新型コロナウイルス感染症で影響を受ける事業者への相談窓口に対する支援や本県で実施しております中小企業経営革新支援事業での計画作成支援など、県行政に多大なご貢献を頂いておりますことに、厚くお礼申し上げます。



さて、ご承知のとおり本県経済は新型コロナウイルスの影響から、大幅に悪化した後、厳しい状況が続いており、設備投資は横ばい圏内で推移しているものの、輸出は大幅に減少、個人消費は大幅に減少したあと、足もとでは下げ止まりつつあります。広島県ではこれまで、休業要請に伴う協力支援金のほか、雇用調整助成金の申請手続き支援、経営や雇用に関する相談支援体制を強化することなどにより、全県的に事業継続と雇用の維持の支援に取り組んでまいりました。さらに、長期的な視点から今後の事業展開に向け、県内小規模事業者が取り組む販路拡大や非対面型ビジネスモデルへの転換等新しい生活様式の下での事業展開への支援や、県内の中小・中堅ものづくり企業等における研究開発支援、新技術・新製品開発に向けた事業化可能性検証への支援など、本県経済の回復に向けて取り組むこととしております。

私ども、経営革新課で実施します県費預託融資制度においても、民間金融機関を通じた資金繰り支援として、実質無利子・無担保となる「新型コロナウイルス感染症対応資金」による融資等を実施し、県内中小企業の円滑な資金繰りを後押ししているほか、経営革新支援では、令和元年度の承認件数は79件に留まったものの、令和2年度は7月末現在で62件と、昨年度を大きく上回るペースで承認しているところであり、皆様方のご支援・ご協力の賜物であると感謝申し上げます。また、事業承継税制では、平成30年度から特例措置による制度の充実が図られており、令和元年度の認定件数は36件で前年度の26件から増加いたしました。また、個人事業者の土地・建物、設備などの事業用資産を対象とした個人版の事業承継税制も引き続き実施し、事業承継に伴う税の負担軽減を行っております。

貴協会におかれましても、豊富な経験や能力を十分発揮され中小企業者と金融機関・行政をつなぐパイプ役として本県中小企業の更なる発展にご尽力を賜りますようお願い申し上げますとともに、広島県中小企業診断協会のますますのご発展と皆様のご健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

## トピックス

### 『令和2年度通常総会 報告』

総務委員長 波出石 誠

令和2年6月20日（土）10時より広島県情報プラザにおいて、一般社団法人広島県中小企業診断協会の通常総会を開催した。司会は、西村英樹事務局長が行った。

会議に先立ち江川雅典会長より、次のような挨拶があった。「今年、1月後半から新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が猛威を振るい経済や社会に多大な影響を与え、広島県内の中小企業においても影響を受けています。



総会（広島県情報プラザ）

当協会では、会員皆様のお力をお借りし、各種補助金の申請支援や広島県庁内での経営窓口相談の支援活動などに努めて参りました。支援活動での会員皆様のご協力にお礼を申し上げます。一方、昨年11月に開催した創立60周年シンポジウムでは、多くの会員、来賓の方にご参加いただき、大変盛大に式典が開催できました。式典開催に際し、多くの役員や会員、事務局のご協力に感謝申し上げます。昨今の目まぐるしい環境変化の中、中小企業診断士の活躍の場は、ますます増えています。今後も皆様と共に、地域活性化に努めていきたい所存です。よろしく願いいたします。」

続いて、現会員208名のうち出席者数は37名、表決権行使数は106名（委任状含む）となり、定款第18条に定める総会成立の要件を満たすことが確認され、江川雅典会長が議長に就任した。

総会では、次の3つの議案、「令和元年度事業報告（案）、正味財産増減計算書（案）、貸借対照表（案）の承認に関する件」、「令和2年度事業計画（案）、正味財産増減予算書（案）の承認に関する件」、「役員を選任に関する件」が上程され、質疑応答の後、全員異議なく承認可決された。これを受けて、新役員による臨時理事会が開催され、新年度の県協会会長に江川雅典氏、副会長に井上明雄氏、大村貞之氏、西原州康氏の3名、専務理事に西村英樹氏が選任された。

総会閉会后、会員表彰が行われた。役員・委員6年在職者表彰では、井上明雄氏、大村貞之氏、岡佳弘氏、松浦和夫氏、20年在籍者表彰では、猪基史氏、片桐健三氏、小林正和氏、田村善光氏、富永宏一氏、普家浩文氏、保本宜範氏が表彰され、当日出席の井上氏、大村氏、岡氏、松浦氏、田村氏、保本氏に江川会長より表彰状と記念品が授与された。

会員表彰の後、新入会員（正会員6名、特別会員2名、転入会員1名）が紹介され、当日出席の5名が挨拶した。

令和2年度 役員・委員名

【 役 員 】

代表理事 / 会長	江川 雅典		
副 会 長	井上 明雄	大村 貞之	西原 州康
専 務 理 事	西村 英樹		
理 事	岡 佳弘	落野 洋一	川角 栄二
	黒川 睦郎	小寺 崇之	田辺 稔
	波出石 誠	松浦 和夫	松浦 由浩
	宮前 美方子		
監 事	岩井屋 忠昭	木村 武則	

【 顧問/相談役 】

顧 問	藤田 武志・岸本 実	相談役	田村 善光
-----	------------	-----	-------

【 委 員 】

担当副会長	委 員 会	委 員 長	副委員長	委 員	
西原 州康	総務委員会	波出石 誠	谷本 俊満	渡辺 敏明	中尾 友和
				児玉 忠則	松浦 和夫
				平田 里文	
	広報委員会	小寺 崇之	古川 佐千夫	青谷 智晃	三本木 至宏
				原 信之介	丸田 稔
大村 貞之	試験委員会	落野 洋一	松浦 由浩	岩井屋 忠昭	植田 昌子
				馬上 元彦	木村 義洋
				若井 匡弘	牧野 恵美子
	診断実務委員会	落野 洋一	松浦 由浩	岩井屋 忠昭	植田 昌子
				馬上 元彦	木村 義洋
				若井 匡弘	牧野 恵美子
更新研修委員会	宮前 美方子	弓掛 元 小地原 良樹	金田 賢二	中岡 朗	
			三宅 慶子	森島 重樹	
井上 明雄	会員研修委員会	川角 栄二	榎 志織	大島 季子	木村 武則
				野崎 義博	牧野 恵美子
				鼠家 正則	藤川 裕志
				山口 卓	上垣内 邦典
	グループ研究委員会	岡 佳弘	岩田 潤一 黒川 睦郎	市岡 和美	岡本 志朗
				黒崎 崇貴	小林 幸夫
				鉄本 一生	野崎 義博
				宮前 美方子	
品質保証委員会	西村 英樹 (兼)	松浦 和夫	黒川 睦郎	田辺 稔	
			松浦 由浩		

【 事務局 】

事務局長	西村 英樹(兼)	事務局長補佐	谷本 俊満	事務局員	村戸 望佐
------	----------	--------	-------	------	-------

## 連 載

### 1. スキルアップメニュー

#### 令和元年度 冬季実務補習5日間コース 第5班 受講報告

実務補習受講生；折戸裕行、菅田茂樹、大村真司、角潤幸、栗原正道、尾崎順子（文責）

#### 1. はじめに

令和2年2月7日から2月17日まで木村武則先生の指導のもと、卸売業勤務・税理士・弁護士・金融機関勤務・役場勤務・小売業勤務の計6名で、中小企業診断士の実務補習に取り組んだ。

6名とも実務補習参加は初めての参加であった。

#### 2. 診断先企業の概要

診断先企業は広島市内中心部に店舗を構える飲食業であり、現社長が6年ほど前に創業した。業歴は浅いが、社長はそれまで30年以上のシェフや飲食店店長の勤務経験がある。季節の素材を使用した食事メニューは大変美味しく、地元の顧客に支持されている。特に見た目にこだわったスイーツメニューはSNSで写真映えするため、積極的な投稿で新規顧客の獲得にも注力している。しかし、令和2年初めに郊外の店舗を閉店し、中心部の一店舗のみの営業となり売上減少が予測される厳しい状況である。

#### 3. 現状の課題

令和2年初めに閉店した店舗は売上・利益ともに好調に推移していただけに、会社に与える影響も大きいと予想された。また、現在フランチャイズに加盟しておりロイヤリティの負担が重く、店舗も広島市内中心部であり家賃が高いこと、店舗面積が売上に比べ大きく効率が悪いことがマイナス要因として挙げられる。そのため、早急な売上拡大と利益確保による事業の安定化が課題となっている。

#### 4. 今後の方向性と改善提案

(1) 経営戦略：経営維持のための現状把握とそれに基づく経営計画の策定

PDCAを回す仕組の構築によりFLコストの適正化を目指す

(2) 財務管理：収益力・資金力改善による適正な収益体制の構築

事業継続に必要な売上と利益・経費の目標設定

(3) 人事労務：人件費の適正化に向けたシフト見直し計画

人件費を削減するための店舗運営体制を構築

---

(4) 営業販売：(客数について)

固定客増加・新規顧客獲得のための具体的提案の実施

新規イベントの開催や平日顧客の誘致や販売促進の改善の提案

(5) 営業販売：(客単価について)

客単価向上による収益改善のための具体的実施案の提案

一点当たりの粗利の見直しと人気メニューの重点販売の提案とその方法

(6) 新規事業開発：既存商品のアレンジと、自社の強みを活かした新商品の開発提案

新たな販路開拓にむけた具体的な提案

## 5. 実務補習後の所感

当診断企業の実務補習の受け入れに関しては、店舗が開店中という時間であり忙しいさなかではあったが十分時間をとってヒアリングさせて頂いた。実習生からの質問に一つ一つ丁寧に回答頂き、社長からは現在取り組んでいる課題や今後の経営戦略などを伺うことが出来た。このヒアリングした内容と、財務資料を基に現状の確認・整理をし、真の原因の追究と課題の設定、改善提案を打ち出した。実習生が自主的に競合店舗や同業他社の品ぞろえ調査を実施し、提案の材料とすることで、さらに説得力ある報告書の作成が出来て、全員が達成感を得られたと思っている。

報告会において、社長にはこれからの厳しい現状を改めて確認頂いた上、利益改善に向けて各実習生から改善提案をお伝えした。社長から感謝の気持ちを笑顔で言っていただいた事が、皆大変うれしく、診断士としての喜びを感じた瞬間であった。

私自身感じたことは、社長への短い時間のインタビューの中で、社長が私たちに何を伝えたいのか、何に困っているのかを理解することと、こちらからの改善提案をどう伝えれば十分理解し、納得してもらえるかという難しさを実感した。残りの実務補習において、このことを課題として取り組みたい。そして、この先診断士として活動していくうえで、常に社長の気持ちを汲み取り、想いに寄り添える診断士を目標としたいと思った。

最後に、業務多忙の中、当班の実務補習にご協力いただいた診断先企業、実習生の考えを聞いて頂いた上で的確な指導をいただいた木村先生、限られた時間の中で作業がスムーズに進むようにとそれぞれが気を配り報告書が完成しましたこと、班員の皆様に感謝しお礼申し上げます。

---

---

## 2. 診断士コミュニティ

### 随筆・見聞録『夢のサッカースタジアム』

中小企業診断士 西村 賢志

令和6年(2024年)12月7日(土)、天候は快晴。午前7時、いつものように熱いコーヒーを啜りながら中国新聞に目を通す。政治面・経済面を読み飛ばし、まずはスポーツ面に急ぐ。

今日はJ1第34節、優勝がかかった天王山、サンフレッチェ広島 vs 浦和レッズの最終戦だ。決戦の地はサンフレッチェのホーム「広島ピーススタジアム」、今年オープンしたばかりの日本有数の「街なかサッカースタジアム」だ。



3万人収容の観客席は全席屋根で覆われ、大画面のオーロラビジョン、最新の音響システムとハード面もさることながら、とにかくアクセスが良い。広島駅から路面電車で約20分、広島バスセンターからは徒歩10分の好立地で、市内・県内のみならず、県外からもアクセスはたやすい。また単なるサッカー場ではなく、フィットネスクラブや温浴施設、カフェ・レストラン、MICE誘致も可能な会議室なども併設されており、多目的な用途に利用可能だ。実際、夏には広島出身の大物アーティスト「Perfume」のコンサートも開催された。

連日の超満員という慣れない環境にとまどったか、開幕当初はつまずいたサンフレッチェだったが、就任2年目を迎える佐藤寿人監督の超攻撃的サッカーが浸透するに従い、尻上がりに調子上げ、現在、首位浦和レッズとは3ポイント差の2位に着けている。今日のゲームで浦和に2点差以上で勝利すれば得失点差でサンフレッチェの優勝が決まる。懸念は今シーズン既に24ゴールを挙げているエースストライカー鮎川峻選手の右足の怪我の状態だったが、なんとか出場は可能なようだ。マスコミは浦和の森保一監督と広島の佐藤寿人監督との師弟対決を煽るが、選手は気にせず臨んでほしい。なぜなら我々3万人の紫のサポーターが選手を後押しするのだから。

今日のチケットが手に入らなかったサポーターの為に、基町クレドの他、市内あちこちの飲食店でパブリックビューイングが開催され、広島<sup>たかぶ</sup>の街は昂っている。一足早く日本一を決めた広島東洋カープのユニフォームを着た人たちもちらほら見える。ひろぎん経済研究所の試算では新スタジアムの経済効果は320億円に上ると言われているがそんな数字に関心はない。サンフレッチェを愛する同志と歓喜を分かち合いたいだけだ。～いざ、最高の舞台へ～

新型コロナウイルスに日常を取り上げられて以降、広島<sup>たかぶ</sup>の街は活力を失っている。プロ野球やJリーグも徐々に観客を入れ始めているが、人数制限・応援制限・飲食制限を伴う状態では味気なさは否めない。そのような状況下、令和6年(2024年)中央公園にて開業予定の「街なかサッ

カースタジアム」にかかる期待は大きい。コロナは必ず収束し、レジリエンス（回復力）の高い観光業は必ず復活する。広島に街に活力を取り戻す切り札になるその日まで、新スタジアムの完成を切に待ちわびる。

※このコラムは筆者の妄想に基づくものであり、実在の人物や団体などとは一切関係ありません。

## 書評『鈴木さんの成功。 会社員から起業した時に待ち受ける「真実」の話をしよう。』

中小企業診断士 岩田 潤一



鈴木さんの成功。

会社員から起業した時に待ち受ける「真実」の話をしよう。

著者：星 渉

出版社：マネジメント社

発行日：2016/1/23

価格：1,430円（税込）

個人起業家を目指す方、個人起業家を支援する方には、自信をもってお薦めできる一冊である。読む前は、起業後の苦労話を書いてある程度かと思っていたが、コンサルをしている先輩に指導を受けながら成功していくというストーリーで、先輩のアドバイスは体系化されており、大変参考になった。

本命商品につながる顧客動線を「恋愛と同じ」と説明があるなど、非常に分かりやすく書かれている。

本書から新たな気付きをいくつも得ることができたが、なかでも「なぜターゲットを絞るのか？」に対する答えが一番の気付きである。著者は、その答えとして、「お客様の抱えている問題をより明確に、リアルに想定するため」と書かれている。

私はこれまで、ターゲットを絞ることがなぜ売上の拡大につながるのか疑問に思うことがあったが、本書では、絞ったターゲットにアプローチするのではなく、そこから抜き出した『問題』にアプローチすることで、同じ問題を抱えている人は全員お客様になるとある。著者は、「ビジネスとはお客様の問題解決」と定義しており、その問題を明確にするためにターゲットを絞ると理解できた。

また、個人起業家の顧客動線について、『リアル』と『Web』の入口から、『本命商品』まで辿り着く流れが、分かりやすく解説されている。その流れは、『リアル』・『Web』（Facebook、ブログ）⇒『メルマガ』⇒『フロントエンドセミナー』⇒『個別体験』⇒『本命商品』である。筆者の体験を基に、試行錯誤を経ての、洗練された流れと感じた。

『Web』については、「中毒性が高い辞書型ブログの記事を、拡散性という Facebook の最大の特徴を使って世の中に広める」、「個人で活動して毎月収入を 100 万円以上安定して得たいと思うのであれば、もう自分のことを芸能人と変わらないと思え！」など書かれており、個人起業家の心構えや、自分のことを多くの人に知ってもらう方法がイメージできた。著者のホームページから門下生のブログを見ることができるが、実際に日に何回も更新されている様子が見えた。

最後に、本書は小説仕立てになっており、続きが気になり、一気に読めた。分かりやすい本を世に出していただき、心より感謝している。

## 『診断士リレー訪問記』

中小企業診断士 牧野恵美子

小島 三奈（こばたけ みな） 氏



今回は、福山市を中心に活動されている、小島さんをご紹介します。広島県協会の中で、小島さんと私は数少ない（？）女性診断士ですが、それよりさらに少ないであろう、岡山県にある同じ高校の出身という、青春時代を同じ学び舎で過ごした仲間です。（年齢はだいぶ違いますが）

小島さんは中小企業診断士としてだけでなく、社会保険労務士としてもご活躍されているので、ダブルライセンスの活かし方やその相乗効果をお聞きしたいと思いお話を伺いました。

Q：診断士を目指そうと思ったきっかけは何ですか？また、独立の経緯を教えてください。

A：きっかけは、広告代理店で主に小規模店舗に対して新規開拓営業をしていたときです。当然ですが、広告は打ち出し方によって反響が変わるので、どうやったらこの店舗の魅力を最大限に打ち出せるか、さらにはどうやったら売上を上げられるかを考えているうちに、段々経営コンサルタントに興味を持つようになったんです。そんなときに、本屋で見つけた、「中小企業診断士」の本に、ビビッときたのが、資格取得のきっかけでした。

もともと、大学は商学部で、学術的な経営やマーケティングを勉強してきたので、それもやっぱり一因だと思います。それから独立は、社会保険労務士としてすでに開業していたので、流れに

---

身を任せて・・・で今に至っています。

Q：今はどのようなお仕事をされているのですか？

A：製造業やサービス業など幅広い業種の中小企業に対して、経営改善や人材活性のコンサルティング、助成金補助金支援などを行っています。また、福山商工会議所の中小企業支援センターの相談員や、期間限定で商工会の経営相談員、事業承継ネットワーク事務局の相談員としても活動しています。最近では、人材育成等のセミナー講師としても活動させていただくようになりました。

Q：小島さんご自身の強みや活かしていこうと思うことは何ですか？

A：強みは・・・どんな方の悩みや気持ちにも寄り添おうとすることでしょうか。自分でも信頼される仕事ができるようにと、お客様の想いや考えに親身に寄り添おうと努力してきたつもりですが、少しずつお客様からそのように評価していただけるようになりました。実は、お客様が抑えてきた感情を思い出してだったり、感動されたりして、涙を流されたことが何度かあります。もちろん、いじわるを言ったりしたわけではないですよ（笑）。

また、社労士と診断士のダブルライセンスも強みだと思います。お客様側からみたら、経営と人事労務の相談をワンストップでできるということで、社労士案件から経営相談に発展することもありますし、逆もあります。

Q：同じ女性診断士ということで…（笑）。これまで良かったことや困ったことはありますか？

A：あまり普段「女性診断士」ということを意識したことがないですが・・・良かった点は、言いにくいことをハッキリ言っても、空気を凍らせることなく話を進めることができることでしょうか（笑）。女性ならではの柔らかさは、やはりあるのかなと思います。また、男性経営者が多い中で、女性消費者ニーズを自ら発想しお伝えできるのも良かった点だと思います。

Q：今後の活動のビジョンや方向性、夢など思い描いていらっしゃることを教えてください。

A：私は、昔から、「従業員の笑顔が会社の業績をあげていく」と思っています。これは、転職を繰り返す中で様々なタイプの組織に所属してきたこと、また社労士業務で人間関係の相談を多く受けてきたことなどから、考えるようになりました。この思いがあるから、私は屋号を「SUN コンサルタント」にしました。「経営者も従業員も笑顔になれるお手伝いをする」をコンセプトに、日々自分ができていることを努力していきたいと思っています。

実は、今年、「健康経営エキスパートアドバイザー」という資格を取得しました。今後は、会社の”健康”を高める活動もしていきたいと思っています。

---

---

## 『新入会員紹介』

### 正会員

#### 今村 由美子 (いまむら ゆみこ)



はじめまして、広島市東区出身の今村由美子と申します。令和2年5月に診断士の登録をし、7月に広島県中小企業診断協会へ入会いたしました。

現在は東京に居住し、企画書や営業資料などのドキュメント制作外注をマッチングする、ドキュメント・アウトソーシング・コーディネイターとして活動しています。今年で開業7年を迎え、年間で100件以上の新たな取り組みをサポートしています。主な領域は、地域振興や観光振興などのコミュニケーションデザインです。また、業務分析を基に発注者教育の研究も行っています。

この道に進んだきっかけは、広島市内にあった企画会社での勤務経験です。中国経済産業局や運輸局の事業などで、地域や中小企業の支援に携わる機会をいただきました。そこで、地域資源や知的財産などを活かし、新たな価値をデザインして地域や企業の活力を引き出すことに、やりがいを得ました。特に、モノからコトへの転換による、顧客志向のアウトプットにニーズを見つけ、現在に至ります。当時の経験を踏まえ、診断士としては広島の中小企業を支援したい、首都圏とのかけ橋として役立ちたいという想いで、広島の協会へ入会いたしました。未熟者のため至らぬ点があるかと存じますが、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

この道に進んだきっかけは、広島市内にあった企画会社での勤務経験です。中国経済産業局や運輸局の事業などで、地域や中小企業の支援に携わる機会をいただきました。そこで、地域資源や知的財産などを活かし、新たな価値をデザインして地域や企業の活力を引き出すことに、やりがいを得ました。特に、モノからコトへの転換による、顧客志向のアウトプットにニーズを見つけ、現在に至ります。当時の経験を踏まえ、診断士としては広島の中小企業を支援したい、首都圏とのかけ橋として役立ちたいという想いで、広島の協会へ入会いたしました。未熟者のため至らぬ点があるかと存じますが、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

### 正会員

#### 松吉 聡 (まつよし さとし)



令和2年5月、広島県中小企業診断協会に入会いたしました、企業内診断士の松吉聡と申します。

広島の生まれで、大学時代を東京で過ごし、卒業後に最初に就職した会社で福岡に配属され、9年間勤務しておりましたが、転職で広島に戻り、現在に至っております。2社ともメーカーの財務会計の職に従事し、債権管理、資金、固定資産、決算、税務のほか、会計システム導入、訴訟支援など幅広い業務を経験しております。

診断士の資格取得のきっかけは、財務会計の業務を通して経営へ如何に貢献すべきかの意識から、経営学全般の理論を体系的に学びたいと考えたことでした。その経緯から、現在では診断士活動のテーマを「会計と戦略の融合」と定めており、企業内部における財務会計の業務経験と知見を生かすべく、特に事業再生の実践に興味を持っております。

今後、協会の活動にも積極的に参加させて頂き、中小企業診断士として、更なる知識習得と技能向上を図り、組織、社会に貢献する所存です。末永くお付き合いくださいますよう、宜しくお願い申し上げます

---

## 特別会員

### 横山 聡 (よこやま さとし)



誕生日の翌日、令和2年1月6日に中小企業診断士登録をし、この度、広島県中小企業診断士協会に入会いたしました、横山 聡と申します。私は現在、広島市に本社がある小売業に勤務し、主に商品企画や調達の業務を行っております。私が中小企業診断士の資格取得を目指したきっかけは何年か前の新聞記事でした。何気なく流し読みしていた時に「社会人の取  
りたい資格1位 中小企業診断士」という文字を見つけました。当時の私は全く資格というものに縁がなく、こういうのもあるんだ、何か持っていたらカッコいいな、役に立つかな？程度の認識でした（今考えるとんでもないですが）。

結局最後まで独学で進め、人生すべての運も使い果たして何とか名前だけは診断士になりました。最近は企業内診断士の会にも参加させていただく中で、早くも自分の力不足を実感する日々を過ごしていますが少しでも世の中の役に立てる診断士になるよう勉強を重ねて参ります。

また、諸先輩方、先生方とお話する機会も出来たことで刺激のある生活が始まり協会に入会して本当に良かったなど実感しています。今後は協会での活動にも積極的に参加していきたいと考えております。ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

---

---

『アントレプレナー ～事務所レポート』

中小企業診断士 鼠家 正則

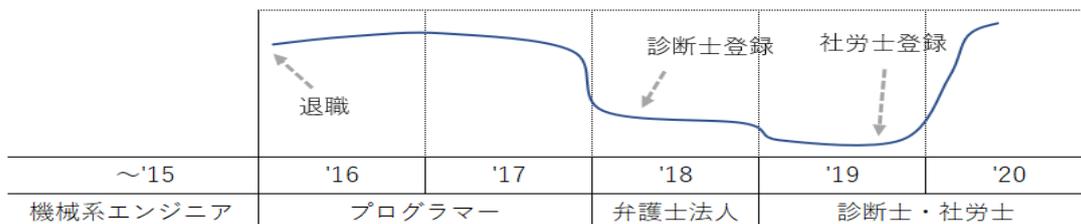
アントレプレナーという言葉は1700年代のフランスで誕生した。時代や場面により定義は多少異なるが、共通しているのは「リスクを取って新しく仕事を始める者」という意味である。収入の保証がないという点で、全ての独立診断士はアントレプレナーといえるだろう。今回は幸いにも執筆の機会をいただいたので、私のこれまでとこれからについて紹介したい。



1. 始まりの2年間と、空白の2年間と、現在

新卒で入社したマツダを辞めたのは4年半前になる。独立して最初の2年間はプログラマーとして働いていた。士業に転向してからは、先の見えない空白の2年間で過ごすことになった。

今年からは複数の公的支援機関の仕事に就いており、日程を調整しながらスポット業務や継続支援に対応している。オリジナルの手法で民衆の経営支援に携わりたいところだが、当面は目の前の仕事を着実にこなすことに注力したい。きちんと仕事をこなせば次の仕事が入ってきて、また人のつながりも広がる。人と人との信頼関係の中で仕事が入ってくることを実感している。



2. 診断士と社労士のダブルライセンス

私の強みの一つは、中小企業診断士と社会保険労務士の2つの資格を持っていることだ。診断士の仕事で労務の相談を受けることもあり、逆に社労士の仕事で診断士の知識が活かされることもある。ITと理工系の経験もうまく活用していきたい。



3. リスク対応と経営力

昨今のコロナウイルスへの対応が示すように、企業の経営力の差は不確実な環境に置かれたときにより鮮明になる。日頃から経営計画を立てて行動している企業は環境変化への対応も早い。無自覚に労働基準法に違反しており、雇用調整助成金の申請が進まない企業もある。このような企業の基礎的な経営力は一朝一夕に身に付けることはできず、時間をかけて地道に取り組む必要があるだろう。これからも中小企業には様々な環境変化への対応が求められるが、リスクに備え、今よりも一歩進んだ経営力への挑戦をサポートできるような診断士を目指したい。

## 令和2年度 研究会活動計画

### 『企業内診断士診断能力向上研究会』

研究会広報担当 岡本 志朗

企業内診断士診断能力向上研究会（企業内診断士の会）では、“企業内診断士の企業診断等にかかる能力の向上（研鑽）”、“中小企業経営の改善・革新の支援（貢献）”、“診断士の活動に必要なネットワーク作り（連携）”を目的として、活動に取り組んでいる。



会員数については、10年目を迎える今年度は、35名（7月時点）となっている。

今年度の活動計画は、毎月第3土曜日に月例会合を開催し、会員それぞれがグループ研究、個人研究を行い、発表を行っていく（月例会合は、新型コロナウイルス感染症拡大防止等の観点から、当面、Webオンライン形式で開催している）。

また、会員からの紹介や協会本部の「企業内診断士におけるプロボノ活動の支援に向けた実証実験事業」等による実務診断にも積極的に取り組んでいく（協会本部の実証実験事業は、2件目の協同組合診断を実施中である）。

なお、例年は、理論政策更新研修後に当研究会会員以外の方にもご参加いただける交流会を開催しているが、今年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、現時点で開催は未定である。

### 『ニューロビジネス研究会』

代表 西村 英樹

4年前の熱狂的なAIブームは沈静化してきたが、AIの実用化に向けた取り組みは各方面で着実に進んでいる。当研究会は診断協会会員だけでなく、AIに関心を持つ中小企業経営者（ユーザ、ベンダー）もメンバーに加え、中小製造業が抱える経営課題について、AIの具体的な活用方法についての調査研究を行っている。



研究会メンバーが代表となり広島サンドボックス事業へ応募した「つながる中小製造業でのスマートものづくり」が採択され、この事業では他のメンバー企業も加わりコンソーシアムを形成し3年に及ぶ実証実験を行っている。また、会員研究会で過去に取り組んだ「製造業におけるAIの活用」の研究成果も取り入れ、中小企業経営におけるAI活用について引き続き検討していく予定である。新型コロナの影響で、現在は月1回、ZOOMによるリモート会議を開催している。

【研究会メンバー】

黒崎 崇貴 ※	三本木 至宏 ※	水津 卓也 ※
西川 充弘 ※	西村 英樹 ※	鼠家 正則 ※
平見 尚隆 ※	藤川 裕志 ※	丸田 稔 ※
三宅 慶子 ※	森若 壽英 ※	吉村 厚司 ※
上田 寛治	高下 和浩	津田 義明
前田 啓太郎	三宅 公平	柳原 邦典
渡部 雅也		

※は診断士

『カープを科学する研究会』

代表 西村 英樹

【活動目的】

リーグ3連覇を達成したカープ球団は、個性あふれる選手の活躍やBBQも楽しめるユニークな球場、カープ女子をはじめとするファンの広がり等により、ここ数年世間の注目を集めている。華々しい選手の活躍やマスコミ報道の裏には、豊富な経営資源を有する他球団には無い地方球団としての知恵を使った球団経営があることを忘れてはいけない。独自の歩みを進めるカープ球団を中小企業診断士の立場から科学的に研究し、ファンを魅了し応援したくなる秘密に迫りたい。研究成果は地域における中小企業経営支援に役立てて行きたいと考える。



【活動計画】

(1) 研究活動

会員がそれぞれ関心を有するテーマについて調査研究を行うが、今年度は伊藤会員の研究テーマである「カープ球団のマーケティングについて」をベースに、全体研究を進める予定である。

(2) 情報発信

研究成果は、診断協会内で共有するとともに外部に対しても積極的に情報発信を行う。

(3) 会合場所等

会合は毎月1回 ZOOM 会議にて実施する予定である。

【研究会メンバー】

伊藤 圭介	江川 雅典	大村 貞之	木村 武則
塩田 睦大	西村 英樹	古川 佐千夫	藤川 裕志
牧野 恵美子	森島 重樹	渡辺 敏明	

## 令和2年度 委員会活動計画

### 『総務委員会』

総務委員長 波出石 誠

#### 1. 活動方針と委員会体制

総務委員会は、当協会の円滑な運営への寄与を活動方針とする。今年度は、委員長に波出石誠、副委員長に谷本俊満、委員に児玉忠則、中尾友和、平田里文、松浦和夫、渡邊敏明（50音順）の7名体制で活動を推進する。



#### 2. 活動計画

総務委員会では、以下の活動を行う。

##### (1) 総会及び理事会の企画・運営

通常総会（6月。総会のみ。懇親会中止）及び理事会（4月中止、8月、11月、2月）の開催。

##### (2) 当協会及び中小企業診断士の認知度向上

新型コロナウイルスの感染状況を考慮の上、「診断士の日」（11月4日（水））前後で関連イベントの実施を検討する。

##### (3) 外部関係機関との連携事業

①図書館ビジネス相談会（広島市立中央図書館：第2土曜日、福山市中央図書館：第4土曜日）

②創業相談会（9月。日本政策金融公庫、県信用保証協会等8機関主催の無料創業相談会）

③中国ブロック連絡会議（11月。本部、中国5県診断協会の連絡会議）・同会議勉強会（1月）

##### (4) 会員交流、会員増強活動

##### (5) その他総務事項の推進など

### 『広報委員会』

広報委員長 小寺 崇之

#### 1. 委員会メンバー

令和2年度の広報委員会は、委員長に小寺崇之、副委員長に古川佐千夫、委員に青谷 智晃、三本木 至宏、原 信之介、丸田 稔の合計6名の体制で推進する。



#### 2. 活動内容

広報委員会は、中小企業診断士の認知度向上および中小企業診断士の能力向上のために県協会が行う活動を支援することを目的とし、次の活動を行う計画である。

(1) 協会広報誌「診断ひろしま」の発行

診断ひろしまでは、協会・各委員会・研究会の計画や活動の紹介、スキルアップメニュー（診断助言事例、実務従事報告等）や診断士コミュニティ（随筆見聞録、書籍出版紹介、診断士リレー訪問記、新入会員紹介）等を掲載する。本年度は、8月（本号）と1月の2回の発行を計画している。

(2) 広報活動の推進

協会の活動および取り組みについて、会員や各関係機関等に広く周知を図るため、その他広報活動を行う。具体的な活動内容については今後の委員会にて話し合いを行い決定していく。

『試験委員会』

試験委員長 落野 洋一

今年度の試験委員会は昨年度に引き続き、中小企業診断士第一次試験、第二次試験（筆記・口述）の実施計画の立案、運営業務を執り行う。また、今年度は新たなメンバーを加え、以下の体制で実施する。（順不同、敬称略）



委員長	落野洋一
副委員長	松浦由浩
委員	岩井屋忠昭、植田昌子、馬上元彦、木村義洋、若井匡弘、牧野恵美子

令和2年度中小企業診断士試験日程

1. 第一次試験

令和2年7月11日（土）、12日（日）広島工業大学専門学校（広島県広島市西区福島町2-1-1）

2. 第二次試験（筆記）

令和2年10月25日（日）

3. 第二次試験（口述）

令和2年12月20日（日）

※第二次試験の試験会場については、現時点で公表が許可されていないため掲載しない。

## 『診断実務委員会』

診断実務委員長 落野 洋一

今年度の診断実務委員会は以下のとおり、新たな体制でスタートする。(順不同、敬称略)

活動内容については従前どおり、①中小企業診断士の登録要件である実務補習、②登録更新に必要な実務従事ポイント取得のための実務従事、の二つの事業を執り行う。

今後は、実務補習・実務従事の指導員登録者の増員・育成を重点に取り組んで行く。



委員長	落野洋一
副委員長	松浦由浩
委員	岩井屋忠昭、植田昌子、馬上元彦、木村義洋、若井匡弘、牧野恵美子

## 令和2年度中小企業診断士 実務補習

1. 夏季コース (5日間コースのみ) :RCC 文化センター  
第1回：令和2年7月17日(金) ～ 7月27日(月)  
第2回：令和2年9月11日(金) ～ 9月23日(水)
2. 冬季コース (15日間コース・5日間コース) :RCC 文化センター  
第1回：令和3年2月5日(金) ～ 2月15日(月)  
第2回：令和3年2月19日(金) ～ 3月1日(月)  
第3回：令和3年3月5日(金) ～ 3月15日(月)

## 令和2年度中小企業診断士 実務従事

10月コース、11月コースの2回実施を予定

## 『更新研修委員会』

更新研修委員長 宮前 美方子

## 1. 委員会メンバー

令和2年度の更新研修委員会は、委員長に宮前美方子、副委員長に弓掛元、小地原良樹、委員に三宅慶子、金田賢二、中岡朗、森島重樹、藤川裕志、塩田睦大の合計9名の体制で遂行する。



## 2. 活動内容

更新研修委員会は、中小企業診断士の登録に必要な5年ごとの「知識の補充要件」の更新要件を、充実した内容で提供することを目的とし、参加者の意向を反映させるため、会場や講師など運営に携わる内容を、委員会で協議し、運営していく。特に本年度は新型コロナウイルスの対策を講じながら、少しでも安心していただける研修の実施を目指す。

なお、本年度は日程・開催時間・会場場所が昨年より大幅に変更しているため、参加者の皆様には事前によく確認して、お間違いのないようにしていただきたい。また、マスク着用・手指消毒等の感染対策についてご協力をお願いする。

## 3. 本年度の理論政策更新研修の予定

第1回	R2年8月29日(土)	12:00-16:40	広島コンベンションホール	広島市東区二葉の里 3-5-4 広テレビビル3階
第2回	R2年8月30日(日)	12:00-16:40		
第3回	R2年11月21日(土)	13:00-17:40	福山商工会議所	福山市西町2-10-1
第4回	R3年2月6日(土)	13:00-17:40	広島県情報プラザ	広島市中区千田町3-7-47

## 『会員研修委員会』

会員研修委員長 川角 栄二

### 1. 委員構成

本年度の会員研修委員会は、委員長に川角栄二、委員に大島季子、上垣内邦典、木村武則、鼠家正則、野崎義博、藤川裕志、牧野恵美子、山口卓の9名体制で活動を推進する。



### 2. 活動方針

昨年度に引き続き、中小企業診断士の資質及び技能の向上を目的とした活動を推進する。本年度の新たな取り組みとして、Zoomを用いたリモート研修の開催を予定している。

### 3. 活動計画

現段階で日程が決まっている研修会は以下の通り。

(1) 「緊急支援の第1歩は資金繰り表の作成から！」

日時… 8月22日(土) 14:00～16:45

会場… リモート開催 (Zoom 使用)

講師… 資金繰り表研究会 代表 大村 貞之 氏  
役員 江川 雅典 氏

## 『グループ研究委員会』

グループ研究委員長 岡 佳弘

当協会のグループ研究会は、現在、12グループ（うち東部地区2グループ）が、中小企業診断や支援等に係る専門的な技術・能力の向上に取り組んでいる。

グループ研究委員会では、こうした研究会活動の活性化を図るとともに、新規研究会の設立を促進することにより、会員相互の研修の場を提供し、当協会の会員増加に貢献していくことを目的に、次の活動を展開する。



### 1. 研究会活動PR、新規研究会設立促進

研究会活動PR小冊子の掲載情報を更新し、協会HPで公開するとともに、様々な機会を捉えPRを実施する。また、新規研究テーマの発掘等により新規研究会の設立を促す。

### 2. グループ研究会連絡会議

研究会相互の連携を図るとともに、研究会活動活性化に向けた諸課題を議論するため、各研究会代表による連絡会議を開催する〔令和3年2月6日開催予定〕。

### 3. 研究活動成果発表会

会員相互の研鑽の場を提供するとともに、研究会参加を契機とした協会への新規入会を促進するため、研究成果を中心とした発表会を開催する。

なお、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、Web同時配信を実施する。

- |   |
|---|
| ○日時 令和2年9月5日（土）午後1時30分～4時30分                                  |
| ○場所 広島県情報プラザ第一研修室（会場参加またはWeb参加を選択）                            |
| ○発表研究会 〔成果発表〕建設業研究会、販路開拓研究会、海外展開支援研究会<br>〔新規研究会紹介〕カーブを科学する研究会 |

### 4. 調査研究補助事業（活動補助費の支給）

研究会活動の活性化を図るとともに、新規研究会設立意欲を高めるため、研究活動にかかる費用の一部を助成する。

### 5. 研究活動成果の発信等

研究成果に関する論文について、随時協会HP上で公開する。また、協会本部「令和2年度調査研究事業」「プロボノ活動実証実験事業」への積極的な応募を促す。

## 『品質保証委員会』

品質保証委員長 西村 英樹

品質保証委員会はこれまで受託委員会が築いてきた数々の実績をベースに、県協会が受託する事業の拡大及び受託事業の品質向上を目的に活動している。



## 【委員会メンバー】

黒川 睦郎	田辺 稔
西村 英樹	松浦 和夫
松浦 由浩	

## 【活動方針】

## ①協会の受託事業の円滑な運営

- ・受託事業の受入態勢・運用規定等の構築、申請書の作成等を行う。

## ②新規受託事業の拡充

- ・公的支援機関との連携維持・強化、金融機関・民間支援団体等との連携活動の新規開拓を行う。  
中小企業診断士の認知度の向上や診断士の日のキャラバン活動等を通じた関係機関との連携を強化する。

## ③専門家登録会員への活動の機会配分と品質向上の実施

- ・派遣専門家の研修機会の拡大（G研修委員会等と連携）、成果物に対する品質向上への助言・是正等を通じた品質保証を行う。

## 【活動計画】

## (1) 専門家登録システムの構築

早期の活用を目的に、完成部分から順次使用開始とする。

## (2) 診断士のキャリアパス検討

専門家登録後のキャリアアップ

A. 受託事業の取組みを通じたキャリアアップ

B. 受託事業の課題の最近のトレンドに関する研修を会員研修会等で実施（役割分担）

## (3) 受託事業の難易度判定

受託事業を担当する診断士を決定するに当たり、各受託事業の難易度を事前に判定しておく

## (4) 診断報告書の内容審査体制の構築

①審査員の任命（選考基準、任命方法）、報酬等の仕組みを構築

②報酬の原資に関する検討

## 巻末のお知らせ

### 『令和2年度 年間主要行事日程表』

日 付	行 事
5月13日(水)	令和2年度 第1回理事会 書面による決議
6月20日(土)	令和2年度 通常総会
7月11日(土)～12日(日)	中小企業診断士第1次試験
7月17日(金)～27日(月)	夏期実務補習①(5日間)
8月19日(水)	令和2年度 第2回理事会(ZOOM会議)
8月22日(土)	第1回 会員研修(ZOOM会議)
8月29日(土)、30日(日)	第1回、第2回 理論政策更新研修(広島会場)
9月5日(土)	グループ研究会 研究成果発表会
9月11日(金)～23日(水)	夏期実務補習②(5日間)
10月25日(日)	中小企業診断士第2次試験(筆記試験)
11月4日(水)	診断士の日
11月15日(日)	令和2年度 第3回理事会
11月21日(土)	第3回 理論政策更新研修(福山会場)
12月20日(日)	中小企業診断士第2次試験(口述試験)
2月5日(金)～15日(月)	冬期実務補習①(15日間・5日間)
2月6日(土)	第4回 理論政策更新研修(広島会場)
2月17日(水)	令和2年度 第4回理事会
2月19日(金)～3月1日(月)	冬期実務補習②(15日間)
3月5日(金)～15日(月)	冬期実務補習③(15日間)

※新型コロナウイルスの感染状況により、各行事の開催日程、開催方法等が変更となる場合がありますので、開催前に必ずご確認くださいませようお願いいたします。

## 『事務局からのお知らせ』

### 1. 会費納入のお願い

令和2年度の会費納入につきまして、既に振込用紙と請求書を送付させていただいております。納入期日は6月30日(火)となっておりますので、未だ納入しておられない方は、速やかに納入して頂きますようお願いいたします。

### 2. 専門家登録のお願い(正会員の方へ)

広島県中小企業診断協会では各支援機関より様々な中小企業支援事業を受託しております。県協会が受託した案件については、正会員の中で専門家登録票をご提出して頂いている方に、随時依頼を行っております。まだ、専門家登録票を提出されていない方は是非この機会にご登録をされて、大いに活躍して頂きますようお願いいたします。詳細につきましては、事務局までお問合せください。

### 3. 診断実務実習のお知らせ

日頃診断業務に携わる機会の少ない診断士の皆様向けに、診断手法・診断ノウハウの習得と登録更新に必要な実務従事ポイントの取得を目的とする「診断実務実習」を本年度も下記の通り実施いたします。受講を希望される方は、お早めにお申し込みください。

#### ◇実施時期及び期間

10月および11月、期間はともに6日間

実施日は原則として土日祝日(診断先企業の都合により、平日が加わる場合もあります)

#### ◇受講料

当会正会員・特別会員 42,000円(税込)

非会員 63,000円(税込)

#### ◇申込締切日: 令和2年8月31日(月)

---

---

## グループ研究会

一般社団法人 広島県中小企業診断

## 令和2年 研究成果発表会



9月5日(土) 13:30~16:30

広島県情報プラザ 第1研修室 (広島市中区千田町3丁目7番47号)

同時 WEB開催決定!!

オンライン参加希望の方には、後日メールにて詳細をご連絡いたします。

- 予定は変更する場合があります。最新情報は広島県協会ホームページで随時公表いたします。

## 【会場にお越しの方は・・・】

- 新型コロナウイルス(COVID-19)の感染対策を行っております。ご協力をよろしくお願いいたします。
- 必ずマスクを着用して下さい。発熱・咳等の症状が見られる場合は、出席をご遠慮下さい。

13:30~ 開会挨拶(会長)

13:40~【成果発表】建設業研究会

14:25~【成果発表】販路開拓研究会

15:15~【成果発表】海外展開支援研究会

16:00~【新規研究会紹介】

カーブを科学する研究会

## 建設業研究会

砂口 たくし

「建設会社の利益の出る原価管理」

建設会社は規模・業態・対応工種などによって、求められる原価管理のやり方が大きく異なっています。それぞれの建設会社のタイプに応じて、効果的な「利益を生み出す原価管理」の手法を紹介します。

## 販路開拓研究会

川上 正人

「早期の業績回復につながる営業力強化の支援事例」

新型コロナウイルスの影響を受けて新規顧客の獲得は喫緊の課題ですが、そのヒントは既存顧客を分析することです。

中小企業診断士が、支援先企業の営業力強化を支援するためのスキルをコンパクトに紹介します。

## 海外展開支援研究会

平見 尚隆

「外国人留学生の地元中小企業への就職と定着」

少子高齢化の中、中小企業では人材の採用と育成が大きな課題の一つになっています。本研究会では外国人留学生の地元企業への就職を後押しすべく、学生と企業のマッチングの手法を研究しており、その事例を紹介します。

## カーブを科学する研究会

伊藤 圭介

「カーブを科学する研究会の紹介」

独自の歩みを進めるカーブ球団を中小企業診断士の立場から科学的に研究し、ファンを魅了し応援したくなる秘密に迫ります。その研究成果を地域における中小企業経営支援に役立てて行く、研究会を紹介します。

ご参加を希望される方はメールにて、事務局までお申し込みください。

smeca34@sunny.ocn.ne.jp

広島県中小企業診断協会 事務局 グループ研究発表会申込窓口宛

【記載項目】 ・出席者氏名 ・診断士番号 ・電話番号 ・メールアドレス  
・参加方法(会場またはWEB)

一般社団法人 広島県中小企業診断協会

〒730-0052 広島県広島市中区千田町3丁目7番47号

TEL 082-569-7338 FAX 082-569-7336

グループ研究会の詳細は協会ホームページで⇒ <https://www.hiro-smeca.jp/>

## 『編集後記』

広報誌発行にあたりご協力下さった皆様に心よりお礼申し上げます。

本誌は、新年度号として編集させていただきました。本年はコロナウイルス感染拡大の影響で通常総会が例年より1ヶ月遅れで開催されたこともあり、広報誌発行時期も例年より遅くなりました。現在、県協会内の委員会、研究会などで多くの予定が延期や中止といった状況になっています。4～5月に発せられた緊急事態宣言とそれに対する全国民の協力により一度は収まりかけたと思われた感染拡大危機も再び訪れようとしています。今回の広報誌に記載された計画や予定は今後の状況により変更になる可能性もありますので、都度、県協会からの情報発信に注意を傾けていただければと思います。

本来であればオリンピック一色で盛り上がっていたであろうこの時期に全く違う光景を眺めていることに戸惑いはありますが、困惑している暇はありません。今、この瞬間も困っている中小企業は沢山いるものと思われれます。このような時こそ何ができるかを考え行動し、一つでも多くの企業を救うことが私たち診断士の役目だと考えます。

地域経済や関わる企業のために立ち止まることなく前進し続ける県協会や診断士の姿を、本誌を通じて読み取っていただければ幸いです。

(広報委員長 小寺崇之)

表紙写真「閑散とする原爆ドーム」 撮影：小寺崇之

※普段は日本だけでなく世界中から多くの見学者が訪れる世界遺産の原爆ドーム。自粛期間中、ここまで閑散とした姿は初めてでした。

一般社団法人広島県中小企業診断協会会報 第83号

発行：令和2年8月9日

一般社団法人 広島県中小企業診断協会

〒730-0052

広島市中区千田町3丁目7番47号 広島県情報プラザ3階

TEL (082) 569-7338 FAX (082) 569-7336

E-mail: jsmecca34@sunny.ocn.ne.jp

発行人 会長 江川 雅典

編集人 広報委員長 小寺 崇之